

新しい時代は自分の力で考えて、それを行動していく

一般社団法人アーネスト育成財団
理事長 西河洋一

(令和6年賀詞交歓会での挨拶から)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震で被害を受けられた皆様には、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。当財団も金沢を拠点としている「一般社団法人地域創生マネジメントいしかわ(稲垣渉代表理事)」が取り組む被災者の復興を支援いたします。皆様からの義援金を募りますので、ご協力をお願いします。

本日は、ご多忙のところ、アーネスト育成財団の「新年賀詞交歓会2024飛躍」に、多数お集まり頂きありがとうございます。今『地の時代』から、新しい『風の時代』へと変わり始めています。

『地の時代』では、地球全体で「産業、労働、経済」を中心とした基盤作りをしてお金持ちほど偉いという価値観の社会を生み出しました。

『風の時代』では、これまでの資本主義・経済活動の基盤作りの時代から、個々の権利や自由を開放する時代へと変わります。ネット社会において、いかに人との関わり合いを作り上げるかが重要な時代となっています。

世界的な新しい風が吹き始めている中、日本だけが新しい風を吹くことを避けてきました。経済的、科学技術的にも成長することから取り残されて30年以上も経済成長をすることができずに孤立をしてきています。そんな日本もコロナ禍で、テレワークやオンラインの急速な普及が起きました。生活様式も変わり、多様な働き方ができるようになりました。新しい変化を見るようになると、風の時代を実感できるようになりました。

これから20年ほどは『地の時代』と『風の時代』という新しい流れがぶつかり合いながら、様々な価値観が生まれ変わっていきます。新しい時代は、一人一人が主役です。自分の力で考えて、それを行動していく。それを繰り返すことでパワーが増し、幸せが舞い込んできます。

本日の賀詞交歓会の中でも、同じ価値観を持つ仲間を増やし、新たな風の時代の到来を意識して、ポジティブな心でワクワクしながら新たな価値観を見つけましょう。財団は新しい風に乗って、新しい時代をつくれる経営リーダーを育成してまいります。